

～突然の病気・ケガ こんなときどうすればいいの?～ 「救急医療の適正利用」啓発リーフレットを作成しました

医療機関や消防署の負担軽減を図るとともに、いざという時に、大切な人や家族の命を守れるよう、救急外来や救急車の適正利用を呼び掛けるリーフレットを作成しました。

- 1 作成の経過 9月7日に開催した「木曾医療圏医療構想調整会議」において、二次救急を担う県立木曾病院から「**軽症者の救急外来利用によって通常の外来診療に影響が出ている。**」との意見を受けた対応
- 2 仕様 A3 二つ折り オールカラー
- 3 作成部数 15,000部
- 4 内容
 - 長野県救急安心センター（#7119）、長野県小児救急電話（#8000）の紹介
 - 木曾広域消防本部の救急出動の状況
 - 県立木曾病院での救急外来の状況
 - ためらわず救急車を呼んでほしい症状 など
- 5 配布方法
木曾郡内に全戸配布するほか、医療機関、薬局、コンビニエンスストアなどで配布予定



この事業は、**地域振興推進費**^{*}を活用して取り組んでいます。

^{*}地域振興局長がリーダーシップを発揮し、保健福祉事務所などの現地機関と連絡調整を図りながら、一体となって地域課題解決や地域の活性化等に向けた取組を実施するため、自ら考え実行する予算です。

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン 3.0
～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

担当：長野県木曾保健福祉事務所
総務課 小口 小林 矢澤

電話：0264-25-2231 (直通)

F A X：0264-24-2276

E-mail: kisocho-somu@pref.nagano.lg.jp